かまくらの不思議を歩こう ㉕

腰越のパワー地図

大貫昭彦

＊古代の町のパワースポット　腰越は、鎌倉で最も早く仏教が伝わった町と思われます。奈良時代に開かれたという満福寺と宝善院があり、隣り町の片瀬には、飛鳥時代創建と伝える本蓮寺があります。

腰越の町も古代から宿場だったといわれ、鎌倉時代には奉行所も置かれ、関所にもなりました。その中から江ノ電腰越駅に近い諏訪神社と義経の悲劇を伝える満福寺、交通の難所として知られた岬に立つ小動神社を訪ねました。

＊変化する諏訪神社　諏訪神社の歴史ははっきりしません。長く小動神社に合祀され、現在地に建てられたのは平成6年です。社殿も鳥居も新しく、年を経たものは一本の榎だけです。境内は陽を浴びて明るく、さっぱりしています。

しかし霊感鋭い大根会の人たちには意外な神社でした。境内に入った途端、空気が冷たいと言い始めました。リーダーの大根師も頭が痛いといって憂鬱そうです。みんなのお参りが済むと、様子が変わりました。社殿の左手前にパワーポイントがあるというのです。

さらに榎の古木に強いポイントが見つかると幹に群がりました。背中が温かくなるという人、前に引っ張られるという人…。40代と70代の女性は上着を一枚脱ぐほどの反応。「悩みがあったら幹に触れて訴えるといいよ」と大根師の弁。こうした変化がどこから来るのか理解できませんが、スポットのエネルギーが刻々変わることはこの目で確かめられました。

諏訪神社の榎に集まる人たち

＊森したの路地　諏訪神社の裏に回ると道端に小さな横穴があります。中に庚申塔と道祖神塔が並んでいます。「森したの庚申塔」と呼ばれています。「森した」は森の下。昔、この辺りは森だったのかも知れません。神社のその榎は生き残りで古木のエネルギーはそこに源がありそうです。庚申の神は髪を逆立てた青面金剛、道祖神は冠を被り笏を持っています。

70代の女性は庚申様に力を感じ、別の方は道祖神に力を感じると教えてくれました。近くには屋敷墓もあります。墓石には「当所無縁供養塔」の文字や金井、金子などの名が見られます。地霊はこの一角に漲っているようで、「花の香りがする」「空気がさわやか」「パワーを感じる」などの声が上がります。

満福寺の義経公手洗井戸

＊脈打つ満福寺の井戸　満福寺は、頼朝と対立した源義経が一月ほど足止めされた寺です。義経の怨霊でも潜んでいるかと思ったのですが、それはなさそうです。スポットは、本堂の前にある賽銭箱の右と本堂裏の硯池（義経手洗い井戸）の二か所で、パワーがあるのは硯池のようです。

池に手をかざすや否や、腕を反射的に上下させる人がいました。心臓が高鳴り、エネルギーが身体を駆け巡る感じだそうです。悠久の昔から腰越の命を育んできた水の霊力でしょうか。

小動神社

＊的を射た小動の神々　古代の東海道は、小動岬の波打ち際を通っていたようです。荒波に命を落とす人もいたでしょう。我子を失ってやっと難所を越えたことから「子死越え」などという地名説もあります。そのため小動神社の祭神は疫病・厄除けの牛頭天王で、境内には大漁、海運安全祈願の神々が祭られています。竜王海神、水神、国常立尊、稲荷、金刀比羅、第六天などさまざまです。

会の皆さんも大根師と異口同音に「ここにはプラスパワーが溢れている」「どの神様も的を射た場所にいる」と言われます。

小動神社では社殿も祠も石碑もその正面で祈るのが正しいようです。

湘南アイパーク開設1周年

医療・健康分野の連携で覚書締結

武田薬品工業が藤沢市村岡に昨年4月開所した「湘南ヘルスイノベーションパーク」（湘南アイパーク）の1周年記念フォーラムが5月15日開かれ、開設に関わった武田薬品前社長で相談役の長谷川閑史氏、湘南ヘルスイノベーションパークジェネラルマネジャー藤本利夫氏らが講演した。

敷地面積約22万㎡に建てられた建物は鉄骨造地上10階建て、延床面積約30万8千㎡で、バイオベンチャーから大企業まで40以上の企業や団体が入居し、1500人以上が勤務している。

セミナーでは、今後、日本の産官学の総意を結集して世界有数のスタートアップとエコシステムの『ホットスポット』としてアイパークを創り上げ、湘南を世界に誇るヘルスイノベーションの拠点にしていくことが提言された。

フォーラムの前に「村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成等に係る 連携・協力に関する覚書」が神奈川県、藤沢市、鎌倉市、武田薬品工業、湘南鎌倉総合病院の5者で締結された＝写真。

未病を改善するために最先端医療・技術を活用する政策を推進する神奈川県の黒岩祐治知事は、アイパークが川崎の殿町地区に次ぐ研究開発の第2の拠点として育ってきたことにふれ、「非常に感慨深いものがある」と述べた。

古式ゆかしく草鹿

端午の節句の5月5日鎌倉宮で小笠原流鎌倉古式弓道保存会による草鹿（くさじし）神事が行われた＝写真は松原省吾撮影。

源頼朝が富士の巻狩（まきがり）を催した際に草を束ねて鹿の形を作り（鹿型の的）、稽古したことが始まりといわれ、同宮で昭和初期から行われている。

直垂、水干、烏帽子の2組（4人一組）の射手が的に向かって交替で矢を射り、勝敗を競ったが、この日は決着がつかず、引き分けになった。

射手と的奉行との間の候詞（そうろうことば）による問答を観客たちが楽しげに見守った。

仮装パレードやライブ

おおにぎわいの大船まつり

好天の5月19日第16回大船まつりが大船駅東口周辺で開かれ、多くの人でにぎわった。

地元の商店会や警察・消防、小学校や大学、JR、銀行、自治会などの協力で行っている祭で、恒例のパレードには約150人が参加。映画の松竹撮影所があった大船にちなんだ仮装パレードには「男はつらいよ」の寅さんや「スターウォーズ」「美女と野獣」の登場人物ほか、「ボヘミアン・ラプソディ」のフレディ・マーキュリーのモノまねをする芸人スベリー・マーキュリーさんも参加し、パフォーマンス会場でも観衆を沸かせた。前回からボランティア団体の協力で車イス利用者もパレードに参加できるようになり、当日はアフロヘアーのカツラで登場＝写真は実行委提供。

各所で和太鼓や吹奏楽、カントリーミュージックなどのライブ、ダンス、消防はしご車体験、フリーマーケットなどが行われ、通りの両側には東北支援の「浪江焼きそば」や焼き鳥、子供向けのゲームや各種模擬店が並び、親子連れなど多くの人が休日の一日を楽しんだ。

社殿改築百年 盛大に祝賀

逗子・亀岡八幡宮

大正時代の社殿改築から百年を迎えた逗子市の亀岡（かめがおか）八幡宮の祝賀の記念行事が5月11日に行われにぎわった＝写真。

同宮囃子保存会のお囃子が境内に響きわたり、参拝客に鏡開きの祝酒が振る舞われた。普段は閉じている社殿の扉が開かれ、唐破風・本漆塗りの神輿が飾られた。「亀神（じん）」の愛称で親しまれる同宮神輿会は「1937年に奉納された神輿が社殿に鎮座するのは初めてで歴史的な日」と感慨を深めた。

同神社の由緒を題材にした紙芝居や歴史解説、地元出身バンドの演奏、歴史が伝わる写真の展示などが行われ、同宮と縁の深い逗子地区の6つの商店街が出店した飲食ブースも賑わいをみせた。

実行委の中心となって今回の祝賀を企画した氏子会の総代が2月に他界した後を引き継いだ奥野哲男副総代（80）は「この神社が〝逗子の緑のオアシス〟として地域により深く根付くよう境内の植樹や整備を進めていく。次の百年に向け氏子会も頑張りたい」と意気込みを語った。

第15代応仁天皇を祀る同宮の正確な勧請の時期は不明ながらも、明治の神仏分離令で延命寺の管理から離れ、1873年に正式に逗子の鎮守に定められたと伝えられている。1919年に改築を行った社殿は4年後の関東大震災にも耐え、百年の歴史を重ね、現在は市民交流の場としても利用されている。（K）

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電 話(0467)25-2100(代表)

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp

漢方薬専門薬局・漢方処方調剤
大船の漢方薬
大船漢方堂
漢方薬専門薬局ですので、なるべく本人が御来店下さい。
〒247-0061 鎌倉市台1-3-10 TEL.0467(47)3311
営業時間：午前10時～午後7時 木・日・祝日休業

鎌倉大町歯科
KAMAKURA OMACHI DENTAL
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
（各種保険取扱／初診 急患随時受付）
鎌倉市大町4-1-7
(木曜、日曜、祝日休診) ☎0467-81-4488
http://www.kamakura.dental/